

## 腹膜透析について

富山市立富山市民病院 腎臓内科 大田 聡



慢性腎不全が進行し、腎機能が10%未満に高度に低下した場合、その肩代わりをする治療（腎代替療法）が必要となり、それには血液透析（HD）、腹膜透析（PD）、腎移植の3本柱の治療があります。PDの特徴は患者さん自らが、自宅で、毎日6~12時間ごとに、1回20分程度かけて、バッグ交換システム（図1）を操作して腹腔内に1.5L程度の透析液を出し入れし、腹腔内に貯留した透析液と自己の腹膜の中の毛細血管内の血液の間で、物質や水の移動を介して、透析を連続的に行うものです。バッグ交換以外の時は、自由に動き回ることが可能です。通院は2~4週間に1回、1回30分ほどの診察を受けるのみですので、病院で1回4時間、週3回行うHDに比して、時間的制約がかなり少ないメリットがあり、仕事の継続を希望される方も積極的にPDを選択されます。また、HDと異なり体外循環を用いない連続治療であり、心臓への負荷が少ないなどの利点があるといわれています。透析患者さんは年々高齢化し、平均導入年齢は69歳を超えており、一般に循環動態の変化に対する適応力の低下した高齢者には短時間で2-3kgの除水を行うHDよりも連続治療であるPDの方が医学的に有利な場合も多々見受けられます。PDのもう一つの医学的利点として、一般に、透析導入後の尿量（残腎機能）がHDに比して長く保たれる事です（図2）これにもPDの方がHDに比して、血圧や体液量の急激な変化が少ないことが関係しています。透析でも代行しきれない腎臓の機能も存在し、自己の腎機能を長く保つことが生命予後にも影響することが報告されています（図3）。

当院では2007年頃までは10名前後であったPD患者さんは、以後右肩上がりに増加し、2019年1月現在33名に達しています。高齢化している腎不全患者さんが最後まで住み慣れた地域で暮らすためのシステムとして、自宅や介護施設で施行可能なPDは有用とされます。PDは患者さん自らが行う治療であり、高齢の方の場合、しばしばサポートが必要となります。富山医療圏でもいくつかの介護施設では看護師の方がバッグ交換をされ、患者さんやそのご家族をサポートしていただいております。大変感謝しています。しかし、まだまだPDのメリットを享受できる腎不全患者さんは潜在的に多く存在するものと思われます。これからも、地域の医療機関の皆様と連携をとらせていただきながら、そのような方に一人でも多くPD治療を提供していきたいと考えています。

お腹に入れる透析液の量は、成人で1.5~2.0L程度です。透析液の出し入れをすることを『バッグ交換』と言います。



図1 バッグ交換

	尿量 (ml/day)		Ccr (ml/min)	
	PD	HD	PD	HD
Start	1100 ± 400	1300 ± 480	4.07 ± 1.23	4.3 ± 2.6
6ヵ月後	900 ± 540	670 ± 420	4.52 ± 2.59	2.5 ± 2.6
12ヵ月後	850 ± 380	400 ± 240	3.81 ± 2.31	1.8 ± 1.6
18ヵ月後	800 ± 400	320 ± 230	3.61 ± 2.25	1.2 ± 1.4
24ヵ月後	750 ± 380	200 ± 220	3.42 ± 2.7	0.8 ± 0.8

図2 腹膜透析と血液透析の透析導入後の尿量

現在の科学技術力では、血液透析・腹膜透析いずれも、生体の腎臓には及ばない。

透析を始めた後も少しでも長く尿が出た方がいろんな点で有利

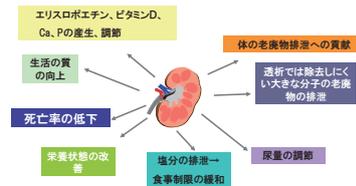


図3

## 第5回 地域連携医療機関医師対象 エコーハンズオンセミナー（血管編）

【日 時】 平成31年3月3日（日） 14:00～16:30（途中入退室可）

【場 所】 富山市民病院 集団指導室（3階）

【内 容】

### ①ミニレクチャー

「意外と簡単!? 頸動脈エコー検査」

近年、メディアでも動脈硬化症が大きく取り上げられ、関心を持たれる市民の方々も増えてきていることと思います。頸動脈エコー検査では頸部にエコー機を当てるだけで、簡単に動脈硬化の程度を知ることができます。

当日は頸動脈エコーの評価法を中心にレクチャーしていきます。

### ②エコーハンズオン ～頸動脈エコーを中心に～

※ハンズオンは希望制です。希望される方は事前にお知らせください。  
（ハンズオンの見学は自由です）

※当日要望がありましたら、頸動脈以外のハンズオンも可能です。



参加をご希望の方、ハンズオンをご希望の方は、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。

ふれあい地域医療センター（担当:石崎） TEL 076-422-1112（代）内線 2989 / FAX 076-422-1154（直）

## ～富山市民病院は、17時以降にもCT検査を承ります～

当院では、時間内のCT検査以外に17時以降に検査を行う「時間外CT検査」を承っております。

### 《時間外CTの利点》

- 勤務等の都合や日中のCT検査が困難な場合に利用していただけます。
- 日中の検査の混み具合によっては、時間外CT検査のほうが早く予約をおとりできる場合があります。

### 1 対象について

- 1) 造影の必要がない方
- 2) 画像やレポート等、検査結果のお渡しは、翌日（週末であれば翌週）以降でも可能な方

### 2 実施日時について

月～金曜日（土日祝祭日除く）17:20～18:20

### 3 検査結果について

郵送もしくは当院職員が紹介医療機関までお届けいたします。

### 4 お支払について

後日、請求書を患者さんのご自宅へ郵送いたします。  
また、時間外CT検査のお支払い額は、日中の料金と変わりありません。当院は撮影部位にかかわらず定額としておりますので、右記の料金表をご参照下さい。

### 時間外CT撮影診断に伴う料金表

（CT撮影診断料+初診料+診療情報提供料【I】）

CT	成人	
	1割負担	3割負担
	2,280円	6,850円

※是非「時間外CT検査」をご利用いただきますよう  
よろしく願いいたします。

※お問い合わせは、ふれあい地域医療センターまで  
お寄せください。

TEL 076-422-1114（予約専用）

FAX 076-422-1154（直通）



# 研修・講演・勉強会のご案内

2月分

## 1. 地域連携症例検討会

日時: 2月12日(火) 19:00~20:15  
場所: 当院3階 集団指導室

### 1) 症例検討 2例

- (1) **食欲不振と色素沈着から明らかとなったAddison病の1例** 内分泌代謝内科 清水 暁子
- (2) **当科における急性虫垂炎の治療方針** 外科 中山 啓

### 2) ミニレクチャー

#### 眼科領域における投与を注意すべき薬剤について

眼科 山田 芳博

「あなたは緑内障なのでこのお薬は出せません」と言われたことのある患者さんは意外に多く、抗コリン作用を有する薬剤やステロイド剤は、添付文章に緑内障では禁忌と記載されており、以前より当科でも他科の先生方や薬局からの問い合わせがしばしばあります。また最近では電子カルテ等の普及により緑内障病名がついていると処方の際にロックがかかり、他科の先生より処方できないとの指摘を受けることがしばしばあります。しかし、ご承知の如く緑内障にはさまざまなタイプがあり、投与が禁忌で

ある緑内障は少なく、誤った理解により必要な処方がない現状もあるようです。今回は投与が禁忌である病態について解説をさせていただき、実際の症例や当科での取り組みについても提示させていただきます。

また以前から指摘されている抗腫瘍剤や抗不整脈剤における角膜障害や最近SLEに承認が得られたヒドロキシクロロキン(プラケニル®)投与における注意点等についても解説させていただきます。

## 予告

※3月の地域連携症例検討会は、電子カルテ更新、医局の改修等の都合により中止いたします。次回開催は4月9日を予定しております。ご参加をお待ちしております。

日時: 平成31年4月9日(火) 19:00~20:15

場所: 当院3階 集団指導室

内容: ①症例検討 2例 (消化器内科・小児科)

②ミニレクチャー (担当) 耳鼻いんこう科・頭頸部外科



## 2. 内科CPC

今月の開催は、ありません。

## 3. 緩和医療部会学習会

日時: 2月12日(火) 17:45~19:15

場所: 地域医療研修センター

○テレビ会議システムを利用したがん看護事例検討会

## 4. 糖尿病研究会定例学習会

日時: 2月21日(木) 17:45~18:30

場所: 看護外来

○テーマ: 今さら聞けないシリーズ  
インスリンって劇薬なの?  
インスリンの種類と効能

○講師: 薬剤師 山田 麻利名

## 5. 褥瘡対策学習会

日時: 2月22日(金) 17:30~18:15

場所: 集団指導室

○テーマ: ①創傷の予防と治療のための栄養管理  
②褥瘡ケアのために知っておくべき  
外用薬のポイント

○講師: ①管理栄養士 小澤 佳恵  
②薬剤師 石原 章奈

## 6. NST学習会

日時: 2月25日(月) 17:30~19:00

場所: 集団指導室

○テーマ: ①肝疾患の栄養管理  
(LES・BCAA・尿素サイクル)

②腎疾患の栄養管理

○講師: ①内科医師 上山本伸治

②透析看護認定看護師 松木 理浩

## 7. 医療機器研修会

今月の開催は、ありません。

## 8. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

※予約申込が必要です。ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

(TEL 076-422-1112代表 内線2989)

○テーマ: 症状別フィジカルアセスメントを  
極める~循環器系

視聴期間: 2月13日~3月11日

○テーマ: 患者の声にならない訴えを  
見る~急変回避のためのアセスメント

視聴期間: 2月26日~3月22日

《衛星研修S-QUE 特別企画》

○テーマ: 第35回 2019年展望

これからの医療、これからの看護

視聴期間: 2月4日~3月25日



# 院内の専門職員のご紹介



左から 竹林、小口、中田看護師

## 「患者さんの足を守るために私たちができること」 —透析内科の取り組み—

### 透析内科フットケアチーム

透析患者さんは腎機能低下に伴い心血管系や骨代謝に関する合併症・易感染状態から、足のトラブルが重症化しやすく、場合によっては下肢切断まで至り、生命予後が大きく低下します。私たちフットケアチームでは、足トラブル予防のためのケアを実施しながら、患者さんのQOLが維持できるようサポートしています。

フットケアの実際は、まず患者さんと共に足を『観る』ことから始めます。私たちはフットケアの観点からだけではなく生活全体を『観る』アセスメントをおこないます。次に、患者さんに合った爪カット・肥厚爪の研磨・乾燥に対しての保湿ケア、自宅で行うケアの指導を行っています。

また、2月10日の「フットケアの日」を中心に2月をフットケア啓発月間としチームの活動を強化しています。透析患者の足を守るために、看護師だけではなく、透析内科・血管外科医師をはじめ臨床工学技士や検査技師など他職種と連携をとっています。

2016年より「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」が新設され下肢病変への意識も高まり、現在ではスタッフ全員で下肢病変のリスク評価を月1回必ず実施しています。このような活動の成果により、当院透析内科では過去5年において下肢・足趾切断などの重症足病変は見られていません。今後も、患者さんの足を患者さんと共に大切に守っていけるよう活動を行っていきたいと思います。



## 医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

2月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	清川	14日	外科・消化器外科・ 乳腺外科	藤村	13日、14日、27日、28日
	林	13日		吉川	8日
	家城	28日		竹下	13日
	清水	28日		萩野	22日
	水野	25日	呼吸器・血管外科	武内	12日
	茶谷	13日	精神科	長谷川	25日
	堀越	22日	眼科	山田	1日
整形外科・ 関節再建外科	澤口	15日、22日	歯科口腔外科	寺島	14日、15日
	岩井	15日			

※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

## 編集後記

平成最後のお正月。次の年号はどんな漢字になるのか楽しみです。

さて私事ですが、今年は十数年ぶりに年末年始出勤もなく、また県外の大学に通う息子も帰省し、久しぶりに家族5人と犬2匹そろってゆっくりと過ごすことが出来ました。

毎年初めに「今年の抱負」と気負っている決意をしますが、仕事や家事の忙しさを理由に年末にはそれを忘れてしまっている事も多く…。自分の時間が持てるようになり、少しは気持ちの余裕が出てきたので「今年の抱負」を決めよう!とと思っているうちにお正月も終わり、さらに1月も終わろうとしています。

今年は「今私にできることから」を今年の抱負として、「今私にできること」を気負わずコツコツ無理せず行きたいと思います。

皆様にとっても幸多い1年でありますように。

ふれあい地域医療センター 樋口 恵実

作：病院ボランティア 篠崎 佳子



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154  
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp